

# ロウソク提供で表彰

## 障害者施設へ市、功績称え

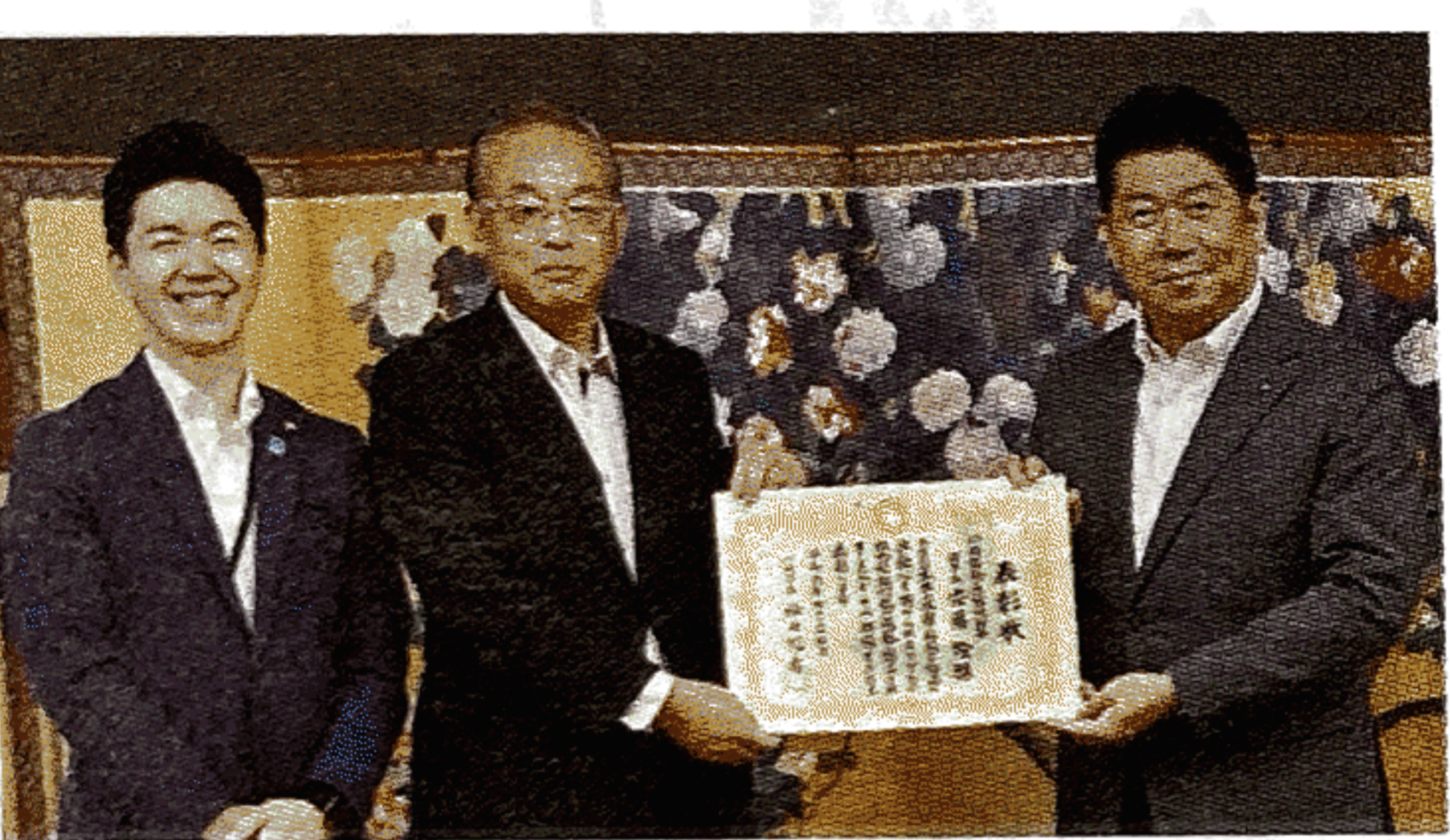
川崎葬祭具協同組合（齋藤隆理事長）は7月24日、使用済みのロウソクと廃木材を市内の障害福祉サービス事業所へ提供した功績が認められ、

福田紀彦川崎市長から表彰状が贈られた。

同組合は、使用済みのロウソクと廃木材を使って着火剤を製造、販売につなげる障害者の就労支

援を目的に2020年10月から使用済みのロウソクを回収。これまで市内の障害福祉サービス事業所に、ロウソク120kgを提供してきた。

福田市長は「資源循環のスキームが整った素晴らしい取り組み」と賛辞を贈った。齋藤理事長は「SDGsでもあり、障害者の就労にもつながる。販路の拡大が課題。今後も川崎市と連携し、



福田市長から表彰状を受け取る荻野健治副理事長（中央）、矢沢孝雄顧問

市民が安心して葬儀を行えるよう様々な取り組みを続けていきた「と意欲を見せたい」と意欲を見せたい。詳細はコチラ



詳細はコチラ